

令和2年度 農業科（食品加工科）

教科	農業	科目	農業と環境	単位数	3単位	年次	1年次
使用教科書	「農業と環境」（農文教出版）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

これから高校で学ぶ教科「農業」の基礎的な科目です。農業と自然環境のかかわりや農業の役割、作物の生育の仕組み、栽培や収穫の技術について、座学・実習等を通して、科学的な考え方や知識・技術を身に付けます。実習では作物をよく観察し、積極的かつ継続的に取り組みましょう。

2 学習の到達目標

- ・農業及び農業を取りまく環境についての興味・関心を高める。
- ・農業に関する基礎的な知識と技術を習得する。
- ・科学的思考力と問題解決能力、勤労観を養い、農業の各分野で活用する能力と態度を育てる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	作物栽培を通じて、農業や自然環境の保全などについて興味・関心を持ち、農作業に意欲的に取り組むとともに、植物の生理を学び、農業を科学的に捉えて合理的に作業しようとする態度を身に付けている。	日本農業と環境に関する諸問題、実習では作物栽培における諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断するとともに、解決方法を表現する創造的な能力を身に付けている。	農業実習を通して、様々な農作業の意味を理解し、栽培ステージや植物の特性に応じた管理作業が、正確かつ、適切な速さで安全に作業が進められる。また、共同作業では自分の役割を責任を持って果たすことができる。	農業生物の育成と環境の保全など、農業と環境に関する基礎的な知識を身に付け、日本の農業の現状を把握するとともに、食料生産の重要性や自然界のしくみを理解し、将来の農業のあり方を創造できる。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノート（座学、実習記録）や教科プリントの記述 定期考査の結果 実習態度や技術習得	学習状況の観察 ノート（座学、実習記録）や教科プリントの記述 定期考査の結果 実習態度や技術習得	学習状況の観察 ノート（座学、実習記録）や教科プリントの記述 定期考査の結果 実習態度や技術習得	学習状況の観察 ノート（座学、実習記録）や教科プリントの記述 定期考査の結果 実習態度や技術習得
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動 (座)・・・座学 (実)・・・実習

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	人間生活と農業と環境(座) 作物栽培の基礎(座・実)	○私たちの暮らしと農業 ○人間生活と地球規模の課題 プロジェクト学習とは 学校農業クラブ活動 ○GAP学習とは ○トウモロコシ・サツマイモの栽培 特性と栽培方法 収穫の時期と方法	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○	a:農業と人間生活の関わりや、プロジェクト学習について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:作物の栽培について、課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c:作物の栽培について、基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d:農業と環境、作物の栽培について理解し、基礎的な知識や技術を身に付けると共に、収穫においては食料生産の厳しさや喜びを体験する。	授業観察(座学・実習) 態度・技術 ノート プリント 定期考査
2学期	農業生産と環境保全の基礎(座) 作物栽培と加工の基礎(座・実)	○地域環境の成り立ちと役割 生態系の特徴と役割 ○GAP学習(リスク分析) ○ダイコン・カブ・キクナ ホウレンソウの栽培 特性と栽培方法 収穫の時期と方法 ○加工と利用 タクアンの製造	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	a:生態系の役割や特徴について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:生態系の役割や特徴について、課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c:作物の栽培やその加工について、基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d:作物栽培や加工について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	授業観察(座学・実習) 態度・技術 ノート プリント 定期考査
3学期	栽培環境とその管理(座) 畑への堆肥の投入(実)	○土壌の構造 土壌とその役割 土壌の三相 団粒構造について ○GAP学習(リスク評価) ○肥料の種類と特性	○ ○	○ ○ 	○ ○	○ ○ ○ ○	a:土壌やその構造について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:植物栽培に適した土について、課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c:堆肥作りの基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d:堆肥の材料や堆肥化の原理を理解し、土壌改善や肥料や施肥に関する基礎的な知識を身に付けている。	授業観察(座学・実習) 態度・技術 ノート プリント 定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。